

2011年5月17日 自治大学校 「図解表現演習」 アンケート

互いに指摘しあったことで、市役所と市民の位置について考える機会となりました。図解に取り組んでいる最中「頭が動いているでしょう。」と言われそれが実感できました。

今まで図を活用して表現することは考えても見なかったが、今回の講義を機会に図で表現することを実践していきたいと思った。

箇条書きの欠点がよく理解できた。役場に戻っても、図解をコミュニケーションのツールとして活用したい。

職場に戻っても役に立てていきます。また、子供の教育にも是非役立てていきます。

図解することは、本当に必要な情報を取捨選択することが重要であり、それを考えることがものごとを整理することにつながると感じた。

本日の先生のお話はとても衝撃的でした。自分の仕事への気づけなかった部分に気づくことができ、大変有意義でした。

日常から図式化して理解していたつもりであるが、その整理方法のアドバイスをいただきとても参考となりました。

図解に興味が増えました。一つ一つの仕事に活かせるようにしたい。図解に出会ったことで、新たに考えることができた。

図解を考えると頭の中がわかるという事が実感できた。業務内容を図解し自分の考えを整理し仕事を行っていききたい。

自分の仕事を図で表す事で、組織の中における自分の立ち位置を改めて確認できた。3時限のみでこの講義が終了するのは残念であった。

ワーク・ライフ・バランスはライフデザインとする。会議の内容は図で表すように心がけていきたいと思えます。新しい手法を教えてくださいありがとうございました。

自分の視野の狭さ、周りを見ることの大切さを痛感させられた授業でした。対住民などと目線を合わせ業務に役立てていくよう、図解表現を取り入れるように工夫、改善していきたいと思えます。

「図解表現」の本質は、表現する内容を考える事だということを、演習をしてみてもはっきりと認識しました。立場が違えば視点も違う、見える景色が違うということ、山からの眺めを例にとりご教示いただきました。個人的にぼんやりと思っていたことがはっきりと認識することができました。

仕事を図解することは、授業を受けない限り考えつかないと思います。部下に書いてもらおうと認識の違いが現れることに、大変興味があります。もし異動したときには、図解を行いたいと思えます。

市役所の組織に市長を入れてなかったのが、普段、自分の頭の中に入っていないことがはっきり分かりました。条例を作ってもよく理解できないことが多いので、図解で表してみたいと思えます。

今回の講義で考えるツールとしての図解表現が、効果的であると学び、とても有意義でした。

実際に”私の仕事“を自分の頭で作成してみても初めて考えさせられている事に気付きました。今後は”私の仕事“の中心を住民に変えて作成したいと思えます。

今までの講義は学説や難しいことを理解させるような手法のものばかりでしたが、全く違ったアプローチで本当に感動いたしました。自分自身の本当の力(姿、能力)がこの程度だったのかと思知ることができました。図解の訓練をやってみたいと思えます。

先生の本が役立つと思参したところ、研修講師に先生のお名前を見つけ、本日とても楽しみにしていました。

図解によってスムーズな仕事ができると思えます。

図解思考は説得力があり、仕事やあらゆる場で使用できるものと感じた。職場で一度久恒教授の講義を受けたいと思えますので、是非、北海道へ呼びたいと思えます。

図解にするためには、自分自身がよく分かっていないとできないことが分かった。これからは職員に広めていきたいと思えます。そのときには先生に研修の講師をしていただきたいと思えます。

今まで図は文章の補助的役割のツールと考えていたので、全く違う視点から学習することができました。図解の説明を通して多くの印象に残るアドバイスがあり、本当に理解しやすかったです。